

## 矢田西中学校学校関係者評価

大阪市立矢田西中学校

### △日時、場所、出席者

- |      |   |            |
|------|---|------------|
| ・日 時 | 平成25年3月12日(火)                                     | 18時30分～20時 |
| ・場 所 | 大阪市立矢田西中学校  |            |
| ・出席者 | 美濃 満, 渡邊 健夫, 石田 芳子, 藤本 泰一郎, 房本 和也,<br>三島 公徳, 笠 敦朗 |            |

### △全体のまとめ

- 生徒・保護者・教職員アンケートの結果や学校の状況視察、保護者・地域の意見を総合すると、現在の学校の教育活動に対して、肯定的な意見が多く、学習面、生活指導面において一定の成果が得られていると確認できる。
- 特に生活指導面については、生徒・保護者・地域・教職員のどの意見をみても、肯定的な意見が80%以上を占め、大きく改善されたといえる。
- しかしながら、生徒・保護者・地域の期待やニーズに十分応えているとはいえない、特に学習面で改善すべき課題が多くある。
- 今後、さらに教育活動の改善、地域とのいっそうの連携、小中の一貫した教育を推し進め、地域に信頼される学校にする必要がある。

### △項目別評価について

#### (1) 学校経営の重点

- 体育大会、文化祭、学年行事等で、生徒が主体的に活動するプログラムを積極的に取り入れ、高い評価を得ている。
- まだまだ課題は多くのもの、生活指導面は大きく改善され、落ち着いて学習できる環境になっている。
- 教育活動のあらゆる場面で、人権教育に取り組んでいるが、生徒に十分な人権感覚が身についているとはいえない、さらに推し進めていく必要がある。
- 矢田西だよりなど学校公開に努めているが、さらに地域との連携を進めていく必要がある。
- 小中連携連携をさらに推し進めていかなければならない。

#### (2) 学習指導の重点

- 習熟度別授業をはじめ少人数授業、グループ学習などの個に応じた多様な授業形態を実施し、基礎学力の定着に努めているが、まだまだ十分とはいえない。
- 授業においては、生徒が意見を発表したり、お互いの考えを話し合う場面をつくる等、生徒の学習する意欲を高める工夫をしており、これが学力面につながることを期待する。
- 研究授業などの研修を計画的に実施し、教員の授業力を高める取り組みは評価できる。

#### (3) 生活指導の重点

- 学校行事や学年行事、部活動等で、生徒の規範意識を高める教育実践が行われているのがわかる。
- 問題行動の未然防止に向け、早期指導に取り組んでいる。
- さらに、保護者、地域と連携し、学校・家庭・地域で子どもを育てる体制を構築する必要がある。

(4) 保健管理・指導の重点

- ・ 生徒理解のため、教育相談等をさらに積極的に行ってほしい。
- ・ 喫煙・飲酒・薬物乱用の害について、適切な指導を行ってほしい。
- ・ 食育の推進などは、学校の特色ある教育として定着していると思われ、評価できる。

(5) 研修の重点

- ・ 特に、教員の授業力の向上を図った研修を、積極的に取り組んで欲しい。
- ・ 校内での研修については、教職員の自己評価から、一定の成果が見られる。

(6) その他

- ・ 進路指導については、丁寧な指導をすすめ、指導の体制の充実が図られている。特に、ここ数年は、卒業生の進路先の確保が十分できている点は、学校の努力として、十分に評価できる。
- ・ 近年、生徒会や部活動の活性化が図られ、それとともに生徒の地域行事への参加も増加している。さらに、積極的な参加を期待している。
- ・ 読書習慣の定着に努力してもらいたい。また、図書館の有効活用、読書活動の充実をお願いしたい。